



# 御堂筋 ものかたり

一変する。ビジネスマン、  
キャリアウーマンの「胃」  
を受け持つ商店が並び、ビ  
ルの1階で暖簾を垂らし  
て、いそいそと開業してい  
る。入居しているビルが新  
築だと、道路寄りにカフェ  
テラスを設けたり、道路に  
面した玄関前にはゆったりと

たくなる。そうこう思いな  
がら歩いていると、昔の民  
家そのままの和風レストラ  
ンが目に入り、別世界のオ  
アシス空間を感じた。薄暮  
の宵ときとあって、白壁と  
格子戸が際立って美しく映  
った。金曜の夕刻のためか、  
店前に開店を待つ人、待ち

座敷で、北海道の蟹と松山  
の鮮魚を料った和食を、  
これからも届けていきたく  
い」とおっしゃった。予想  
通りのお返事でうれしかっ  
た。

## ビルの谷間の民家に思う

また、老舗を誇る藍暖簾  
をさげたお寿司屋さんが、  
その玄関先に「梅川忠兵衛  
ゆかりの淡路町」の石道標  
を立てて、静かにお客をお  
迎える。これらの空間に、  
通行する者はつい立ち寄り

スペースをとり、植え込み  
や街路樹を植えている。願  
わくば、このゆったりスぺ  
ースにベンチを置けるよう  
にしていたら、もっと  
とうれしくなってしまう。

また、老舗を誇る藍暖簾  
をさげたお寿司屋さんが、  
その玄関先に「梅川忠兵衛  
ゆかりの淡路町」の石道標  
を立てて、静かにお客をお  
迎える。これらの空間に、  
通行する者はつい立ち寄り

御堂筋の全体を評するの  
はまだ早い。舗道に面し  
たビル街は企業のシヨール  
ームという感じで、現在の  
は、その感が強い。外形は非  
常にきれいであるが冷た  
く、人間臭もあまり感じな  
いので、疎外感さえ覚える。  
しかし、一本筋を入ると

